

プロバイダ別マイ電子リソース

プロバイダ別マイ電子リソースを管理するには、次の役職が必要です。

- 電子目録オペレータ
- 拡張電子目録オペレータ (削除操作に必要)
- リポジトリマネージャー
- 購入マネージャー
- 購入オペレータ

プロバイダ別マイ電子リソースを使用すると、プロバイダからの購読物および利用可否ステータスを簡単にAlmaに表示できます。プロバイダ別のマイ電子リソースにより、アクセスしたがアクティブ化していないリソースをアクティブ化できます。

プロバイダ別マイ電子リソースは、最初にProQuestプラットフォーム (Book製品を除くGovernment Platform、History Vault、Statistics製品を含む) で電子コレクションステータスを提供します。プロバイダごとのマイ電子リソースは、ユーザーごとに購読情報を提供する能力に基づいて追加のプロバイダを含むよう拡張されます。

この機能を使用するには、あらかじめプロバイダアカウントIDが必要です。ProQuestアカウントIDの場合、それを見つけることができる場所は複数あります:

- ProQuestアカウントIDには、複数箇所から見つけることができます。通常どおりProQuestにログインして検索を実行すると、アカウントIDはURLの一部として `accountid = XXXX` のフォーマットで表示されます。XXXXがProQuestアカウントIDです。
- ProQuestプラットフォームで使用状況レポートの自動配送をセットしている場合、アカウントIDはレポートの上部に目立つように表示されます。
- または、ProQuest管理者モジュールにログインしてProQuestアカウントIDを取得します。以下に示すように、アカウントIDがアカウントフィールドに表示されます:



ProQuest管理者モジュール

プロバイダ別マイ電子リソース

プロバイダ別マイ電子リソース機能の目的は、プロバイダから取得したリソースが所属機関で有効化されるようにすることです。この機能は所属機関がアクセスできる電子コレクションの中で、特定のものが有効化されていない状況を防ぐために使用されます。この機能により、受入たものと実際に有効化されたものの間のギャップを埋めることができます。

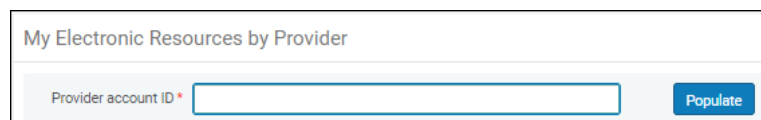
プロバイダ別のマイ電子リソース機能を使用すると、プロバイダのアカウントIDを入力し、そのプロバイダから購読している電子コレクションを表示できます。さらにシステムは、「利用可否」列で、有効化した電子コレクションと、購読で有効化される電子コレクションを強調表示します。

電子コレクションの購読を管理するために、プロバイダー別のマイ電子リソースでは、電子コレクションを選択的にアクティブ化するか、または非アクティブな電子コレクションをすべてアクティブ化できます。[プロバイダー別のマイ電子リソース]ページに表示される購読のリストでの作業を容易にするために、個々の電子コレクション名で検索するか、フィルターを使用して電子コレクション購読リストのサブセットを表示できます。リストの表示は、次の方法でフィルタリングできます:

- 利用可否 (すべて、有効化、非有効化)
- 電子コレクションタイプ (プロバイダからダウンロードしたデータによって決定されるオプション)
- 電子サービスタイプ (プロバイダからダウンロードしたデータによって決定されるオプション)
- インターフェイス (プロバイダからダウンロードしたデータによって決定されるオプション)

プロバイダ別マイ電子リソースを使用する方法

1. [プロバイダ別マイ電子リソース] ページを開きます ([リソース > 在庫の管理 > プロバイダ別マイ電子リソース])。
2. プロバイダのアカウントIDを入力し、[表示] を選択します。購読数に応じて、[プロバイダ別マイ電子リソース] ページを取得および表示するには 数分かかる場合があります。
最初にアカウントIDをテーブルに入力して、データを投入すると、システムはこのIDを記憶し、[リソース > 在庫の管理 > プロバイダ別電子リソース] を選択すると、プロバイダ別マイ電子リソースを自動的にデータ投入します。このページを開くたびに、システムはプロバイダ情報にアクセスして、[プロバイダ別マイ電子リソース] ページに最新の情報を入力します。このリストには、以前に購読していて今は購読していない電子コレクションは反映されないことに注意してください。



プロバイダーアカウントID

3. ギアアイコンを選択し、プロバイダコレクションIDを含めるように希望の列の表示をセットできることに注意してください。
4. [プロバイダ別マイ電子リソース] ページに表示されるリスト/テーブルをレビューし、有効化されていない電子コレクションを有効化するには、次のいずれかの方法を使用します:
 - 行の有効化アクション - 行の有効化アクションを使用して、単一電子コレクションを有効化します。
 - すべて有効化 - このオプションを使用して、有効化されていないすべての電子コレクションを有効化します。この方法では、1つ以上のページに表示される長いリストがある場合、有効化されていない電子コレクションを複数のページにわたり有効化することを含みます。
 - 選択を有効化 - 行のチェックボックスを使用して個々の行を選択するか、テーブルヘッダーのチェックボックスを使用して、そのページの非アクティブな電子コレクションをすべて選択します。複数ページのリストで非アクティブなコレクションをすべて選択するには、各ページのテーブルヘッダーのチェックボックスを選択します。

Note

Alexander Streetコレクションは、地域の制限により、自動有効化(「すべて有効化」)から除外されます。
Alexander Streetコレクションは、(コレクションを選択し、[選択を有効化]を選択することにより)手動での

み有効化できます。

ユーザーが[すべて有効化]をクリックすると、Alexander Streetコレクションは除外されます。これについては、[コレクションの有効化]ポップアップでユーザーに通知されます。

テーブルヘッダーのチェックボックスを選択して行を選択すると、非アクティブなコレクションが選択されます。現在有効化中の有効化されたコレクションまたは電子コレクションは選択されません。

5. 電子コレクションを有効化すると、[コレクションの有効化]ポップアップが表示されます。情報を読んでください。有効化時に電子コレクションに適用される情報を入力します:

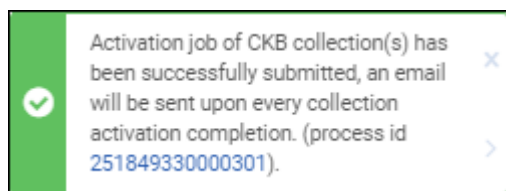
- CLIENTID – クライアントIDを入力してください。
- リンキングパラメータ – 有効化するために選択した電子コレクションによっては、電子サービスのリンキングパラメータが表示される場合があります。
- プロキシの有効化 – はいまたはいいえを選択します。
- プロキシの選択 – プロキシの有効化ではいいを選択すると、選択したプロキシドロップダウンリストに、所属機関に設定したプロキシオプションが表示されます。

6. [有効化]を選択します。有効化ジョブの送信に関する確認メッセージが[プロバイダー別のマイ電子リソース]ページに表示されます。電子コレクションのアクティベーションが進行中であることを反映して、[利用可否]列のアイコンが



に変わることにご注意してください。

7. 確認メッセージのプロセスIDリンクを選択すると、各電子コレクションの処理ジョブの詳細を含む[作業の監視]ページの[実行中]タブにアクセスできます。



プロセスID

[履歴]タブを選択すると、親ジョブが表示されることにご注意してください (<account ID>のプロバイダー購読有効化)。この単一のジョブは、有効化されている各電子コレクションの各ジョブを実行します ([実行中]タブに表示)。

Name	Job ID	Job Category	Operator	Submit Date	Start Date	End Date	Status
1 Electronic activation job - SciTech Premium Collection	251849480000301	Repository	System	13/08/2019 02:44:12 AM IDT	13/08/2019 03:32:40 AM IDT	13/08/2019 04:09:33 AM IDT	Completed Successfully
2 My Electronic Resources by Provider Activation for 25386	251849330000301	Repository	admin	13/08/2019 02:44:06 AM IDT	13/08/2019 02:44:06 AM IDT	13/08/2019 02:44:12 AM IDT	Completed Successfully

履歴タブ

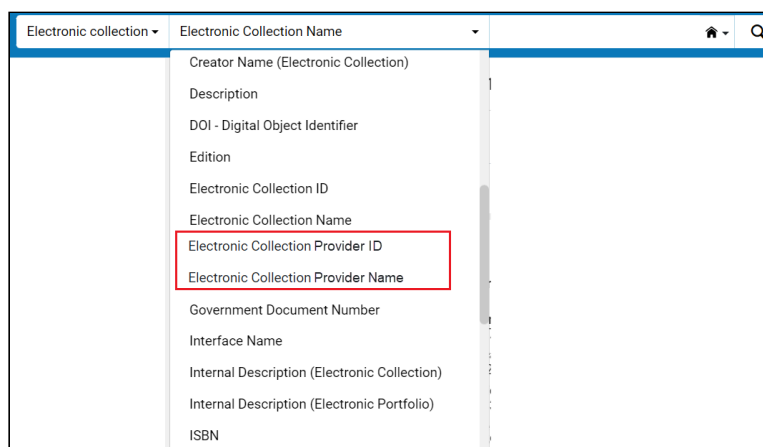
詳細については、[プロバイダ別マイ電子リソースジョブレポート](#)を参照してください。

プロバイダーコレクション名とIDでAlmaを検索

プロバイダー情報を使用してAlmaでコレクションを検索します。これは、コミュニティゾーンのコレクション名がプロバイダーのコレクション名と異なる場合に特に役立ちます。コミュニティゾーンコレクションには、プロバイダーコレクション名とID、およびAlmaコレクション名とIDが含まれる場合があります。コミュニティゾーンコレクションのプロバイダー名とIDが定義されると、コミュニティゾーン、機関、およびネットワークタブで検索できるようになります。

Note

- プロバイダーコレクションの名前/IDは顧客によって更新できません。
- 「プロバイダーコレクション名」と「プロバイダーコレクションID」は、コミュニティゾーンに追加された新しいコレクションにのみ入力されます（2025年2月のリリース以降継続中）。
- 上記の2つのフィールドの表示は、データが存在する場合にのみ確認できます。
- データは上記の2つのフィールドで提示されているのはプロバイダーからEx Librisに渡されたとおりに表示されます（プロバイダーからEx Librisに提供されていない場合はプロバイダーコレクションIDは表示されません）。



プロバイダー名とプロバイダーID

プロバイダリスト別マイ電子リソースをエクスポートする

エクスポートツールを使用すると、[プロバイダ別マイ電子リソース] ページの電子コレクションのリストをExcelスプレッドシートにエクスポートできます。

プロバイダ別電子リソースジョブリポート

プロバイダ別マイ電子リソースでは、有効化ジョブの実行時に生成されるリポートは2種類あります。

1つは、有効化の際に送信した各電子コレクションに対して有効化ジョブを実行およびトリガーするための親ジョブ用のリポートです。

Job Report Back

My Electronic Resources by Provider Activation Report

Electronic Collection ID in CZ	Electronic Collection Name	Service Type	Job ID
1 61379000000000496	SciTech Premium Collection	Full Text	251849480000301

親ジョブ

もう一方は、電子コレクションを有効化するときに表示されるものと似ています。プロバイダ別マイ電子リソースを使用した際に、有効化される各電子コレクションのレポートです。

Job Report Back

Counters

Electronic Collection name	SciTech Premium Collection
Number of new entities	7381

電子コレクションジョブレポート